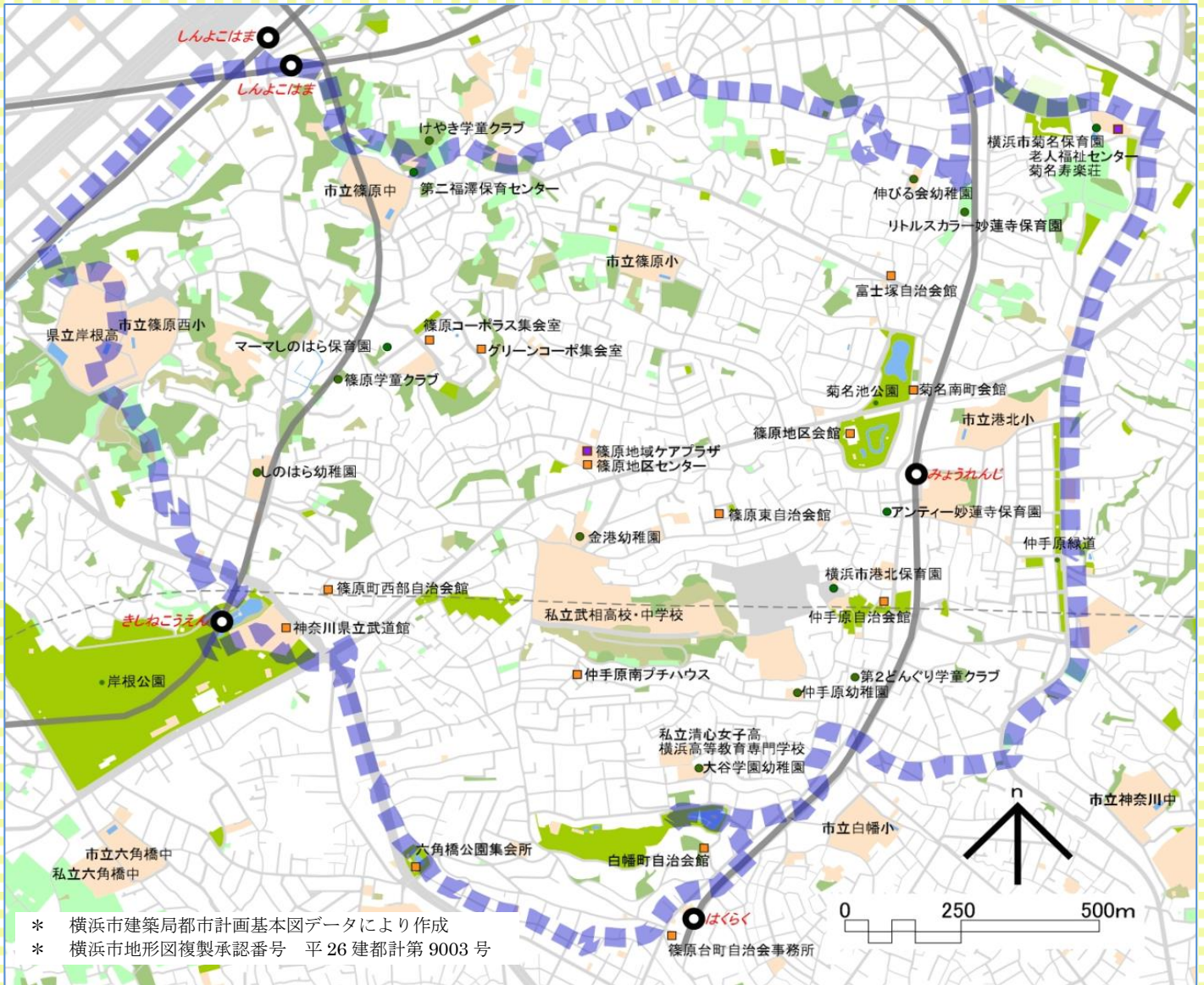


保存版

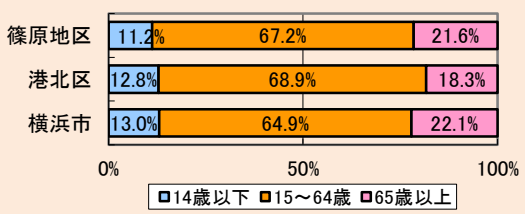
わがまち篠原



篠原地区は、菊名・富士塚・篠原町・篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の7つの町に分かれており、10の自治会があります。人口は区内でも3番目に多く、約3万5千人の方が暮らしています。地区の東部に東急東横線、北部に横浜線、西部に市営地下鉄の駅があり、特に横浜の陸の玄関、新横浜駅に隣接しているなど、交通の便が良い地区です。

土地は起伏に富み、細い道も多いですが、緑が多く、環境の良いところが自慢です。ボランティア活動も盛んで、地域での子育て支援、高齢化への対応など取り組みが活発です。現在は、担い手を増やす取り組みや様々な活動を行っている多くの団体をつなぐ取り組みを行っており、特に若い人や、男性が参加しやすい環境づくりを検討しています。

年齢3区分別人口構成



世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
篠原地区	17,427	35,287	2.02
港北区	161,726	334,668	2.07
横浜市	1,712,603	3,712,351	2.17

※「ひとつプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

これまでの取り組み

篠原地区では、自治会やボランティア団体によって、各自治会館でのミニデイサービス、育児サークルなど、さまざまな福祉活動が古くから行われていました。平成18年度から始まった「わがまち篠原」は、それらの活動をさらに充実させ、また、地域住民が活動団体の枠を超えて安全で安心して暮らせるまちを作るため、「交流」「ボランティア」「安全・安心」「相談・情報(ホームページ)」という4つのテーマで分科会を組織し、活動しています。

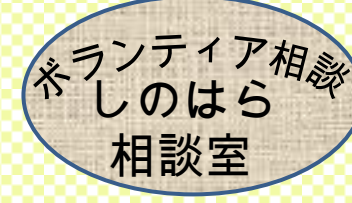
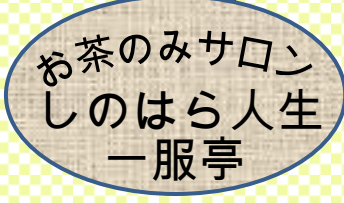
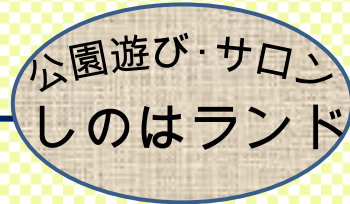
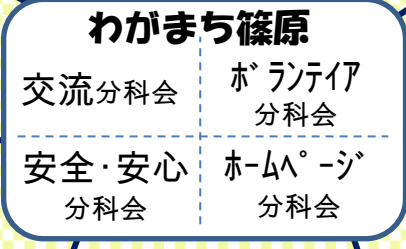
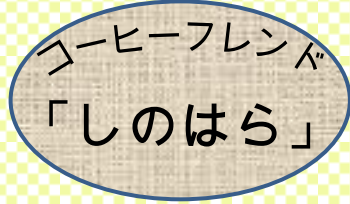
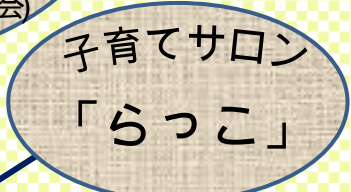
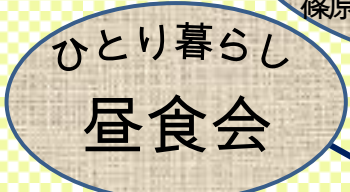
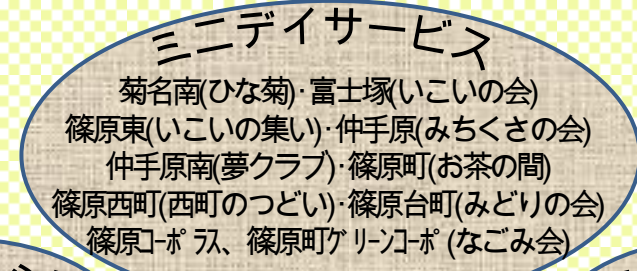


<昼食会>



<子育てサロン「らっこ」>

～しのはら地区の活動イメージ～



<公園遊び・サロン「しのはランド」>

<しのはら人生一服亭>



～4つの分科会の活動～

交流

平成24年度から進めてきた障がい児放課後余暇支援事業の名称を「とも・とも篠原」に決め、年3回活動を行いました。ボランティアを募集し、合計14名の方が活動してくれました。参加された児童の保護者からは「活動が楽しいと自宅でも話している」、「少人数の中でコミュニケーションを取り合い、交流する機会となった。」との声をいただいています。今年は5月から隔月で年5回開催予定です。



<とも・とも篠原のロゴマーク>



<ボランティアのみなさん>

ボランティア

これまで、文化祭でのパネル展示、障がい者の外出や通学支援をテーマにした講座の開催、養護学校への施設見学会を実施し、**ボランティアへの理解を深める活動**をしてきました。

担い手の世代交代も見据え、今年度はもう一度原点に戻り、**男性や高校生ボランティアの育成**、活動団体同士の交流支援などによって、**ボランティアの裾野を広げる活動**をしていきます。



<住民向け講座の様子>



安全・安心

富士塚自治会では、要援護者を支援するボランティア隊「富士塚ささえ隊」を結成し、安心カードの配布や、安否確認の訓練を実施してきました。

平成25年度は**篠原台町自治会**で「無事を知らせるマグネットシート」の配布、**菊名南町自治会**では「菊名南町ささえ隊」の結成に向けて検討が始まるなど各自治会に少しずつ活動が広がっています。日頃から顔の見える関係をつくっていくことが災害時に生きると思っています。



<安心カードと訓練の様子>



ホームページ

わがまち篠原（ホームページ）を立ち上げ、毎月2回の更新を行っています。

写真や動画を数多く掲載して見やすくする工夫を行い、**アクセス数も増加**しています。

地域のホームページとして行事の様子や様々な活動を紹介することにより、多くの方の参加や活動の活性化につながることを目指しています。

活動の様子を取材してくれる
レポーター募集中！

わがまち篠原

検索

ぜひ一度、ホームページをご覧ください！「わがまち篠原」で検索☆

<ホームページURLのQRコード>



これから目指していく姿

安全で安心して暮らせるまち
 ひとりひとりがつくる 篠原
 子どもも大人もいきいき 篠原
 みんなで声をかけ合う 篠原

わたしたちのまちの取り組み

篠原地区では、日々、さまざまな活動が活発に行われています。これからの「わがまち篠原」は、連合自治会や地区社会福祉協議会、各種団体と協力し、お互いの活動をひろげ、ネットワークをつくっていきます。

そのため「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）を柱として、つぎのような具体策を掲げます。

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
ひろがる	理解	●子育てサークルと地域ミニデイとの交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の状況に応じて、可能な開催方法を検討します。 開催場所を検討し、増やします。
	担い手	●ボランティアの交流を図り、新たなボランティアの可能性を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 引続きボランティア講座を実施します。 男性ボランティアや、高校生のボランティアなどを増やします。
つながる	知る	●障がい児の居場所づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児の居場所「とも・とも篠原」を定期開催します。 障がい児への理解を深め、担い手の育成を図ります。
	活動	●地域活動の更なるネットワーク化を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会や各団体の活動を尊重し、ボランティアの交流や、連絡協議会の設置など、横の連携を検討します。
とどく	情報	●ホームページを活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体やサークルの活動予定や活動報告を紹介します。 写真・動画を増やし、充実させます。 レポーターを探します。
	早期発見	●安全・安心のため、要援護者を把握し、非常時のための支援活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のあんしんカード等を検討し、可能な自治会で具体的な形にします。

振り返りの仕方

篠原地区地域福祉保健計画推進委員会にて、定期的に活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。あわせて目標と具体策に沿って進捗管理・推進を行います。各分科会を概ね2～3か月に1回開催し、年度末に活動報告会を開催します。

発行

「わがまち篠原」推進委員会 委員長 川島武俊(篠原地区連合自治会長)

問合せ先：港北区福祉保健課(☎540-2360) 港北区社会福祉協議会(☎547-2324)